

## Medication-overuse headache (MOH)の日本語訳に関する報告

Medication-overuse headache (MOH)は、ICHD-2で導入され、翻訳委員会で「薬物乱用頭痛」の用語が採用された。国際頭痛分類初版(1988年)ではoveruseの用語は使用されておらず、「8.2.2 analgesics abuse headache」が掲載されており、日本頭痛研究会により公開された日本語訳は、「鎮痛薬乱用による頭痛」と記述されている。

MOHの日本語訳の取り扱いにつき、当委員会で、五十嵐委員、渡邊委員、菊井委員(第8章翻訳担当)を中心に、委員会全体で議論を行い、ICHD-2日本語版作成委員長である間中顧問の意見も伺い、2014年2月3日付で、委員会として「Medication-overuse headacheの日本語訳について」を代表理事に報告した(資料1)。日本語病名の候補として提出した用語および、その後の提案を追記したものが資料2である。

2014年2月10日に開催されたあり方委員会で、MOHの日本語訳について意見交換がなされた。これを受けて、委員会に訳語の提案を作成するよう、代表理事より指示があった。

ICHD-3 $\beta$ 日本語版では「8.物質またはその離脱による頭痛」のサブタイプとしての「8.2 Medication-overuse headache (MOH)」の訳語は「8.2 薬剤の使用過多による頭痛(薬物乱用頭痛、MOH)」とし、以下のサブフォームは、ICHD-2の訳語を踏襲して、たとえば「8.2.1 Ergotamine-overuse headache」は「8.2.1 エルゴタミン乱用頭痛」とすることとした(資料3)。

医学用語の日本語訳は、学術的に適正なものとする必要があり、同時に社会や患者への配慮も不可欠である。これまで使用してきた学術用語の継続性、整合性を保つことも重要である。これらを総合的に勘案し、ICHD-3 $\beta$ では、MOHの訳語として「8.2 薬剤の使用過多による頭痛(薬物乱用頭痛)」を暫定採用して、 $\beta$ 版としてフィールドテストを行い、集積した知見をもとにICHD-3正式版の日本語訳に反映されることを期待するものである。

日本頭痛学会国際頭痛分類委員会  
委員長 竹島多賀夫

## Medication-overuse headache の日本語訳について

Medication-overuse headache (MOH) の日本語訳として現在、「薬物乱用頭痛」を使用しているが、ICHD-3β 日本語版作成にあたり、この用語の取り扱いにつき、背景を整理し、変更の要否、変更する場合には新しい用語案などにつき、委員会で議論を行い要点を記した。

「薬物乱用頭痛」との日本語の病名が、覚醒剤などの違法薬物の乱用とまぎらわしいとの指摘が医師、患者からされている。

- “薬物乱用”という言葉は以前から社会的に用いられており、その場合は違法薬物の乱用を示している。

### 薬物乱用で検索

#### 【警察庁】

<http://www.npa.go.jp/sosikihanzai/yakubutu/jyuki/yakubutu/drug2013.pdf#search='%E8%96%AC%E7%89%A9%E4%B9%B1%E7%94%A8+%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E5%BA%81'>

【警視庁】<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/seian/yakubutu/syonen.htm>

薬物乱用の恐ろしさ

薬物は魔物

#### 【厚生労働省】

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/iyakuhin/yakubuturanyou/](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/iyakuhin/yakubuturanyou/)

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/dl/pamphlet\\_01a.pdf](http://www.mhlw.go.jp/bunya/iyakuhin/yakubuturanyou/dl/pamphlet_01a.pdf)

薬物乱用とは、社会的常識、特に医学的常識を逸脱して、「合法ハーブ」等と称する薬物をはじめ麻薬や覚醒剤などの薬物を使うことです。たとえ、1回使用しただけでも乱用にあたります。

【内閣府】[http://www8.cao.go.jp/souki/drug/drug\\_abuse.html](http://www8.cao.go.jp/souki/drug/drug_abuse.html)

薬物乱用の定義: 本来は、病気などの治療に使用する医薬品を医療目的以外で使用したり、医薬品でない薬物を不正に使用することを「薬物乱用」といいます。たとえば、不眠症でないのに酩酊感を味わうために睡眠薬を飲んだり、シンナーを遊びや快楽を得るために使用する

ことです。このような目的で使用した場合、たとえ 1 回使用しただけでも、薬物乱用にあたりま  
す。

【その他】(公財)麻薬・覚醒剤乱用防止センター <http://www.dapc.or.jp/>

薬物乱用防止「ダメ。ゼッタイ。」ホームページ

麻薬・覚せい剤・大麻・コカイン・向精神薬その他の薬剤(この中に鎮痛剤(バルビツレート他)も記載)が記載されている。覚せい剤, 大麻, MDMA,MDA,コカイン, ヘロイン, アヘン, 向精神薬, その他麻薬, 有機溶剤, 違法ドラッグ(鎮痛薬の記載なし)

【薬物乱用対策推進会議】 H25.8(厚生労働省, 警察庁, 都道府県, (公財)麻薬・覚醒剤乱用防止センター) 第四次薬物乱用防止五か年戦略】

覚せい剤, 大麻, コカイン, ヘロイン, あへん, MDMA 等合成麻薬, 合法ハーブ

- 内閣府の第三次薬物乱用防止五か年戦略の英語版では薬物乱用は drug abuse と訳されている。一方、米国では、日本でいう“薬物乱用”は substance abuse であり、【アメリカ精神医学会】アメリカ精神医学会(APA)による精神疾患の診断基準では、「害があることを認識しているにもかかわらず物質の使用を止めることができない状態で、かつ耐性や身体的依存の形成が診断基準に含まれる薬物依存症の概念を満たしていないものである。」とされている。広義には MOH も substance abuse にはいる、という考え方もあるが、medication-overuse イコール substance abuse ではない。
- substance, drug, medication はいずれも意味が異なるが、日本語ではこれらをすべて、“薬物”と訳していることが、誤解を招く誘因である可能性が高い。
- 8.2 MOH のところで述べられている対象薬はいずれも頭痛の治療目的で使用された薬剤である。このため、“medication”の訳を“薬物”ではなく、“治療薬”、“頭痛薬”、などに変更してはどうか、という意見が出されている。  
一方、overuse に関しては“乱用”のままでもよい、“連用”はどうか、などの意見が出された。“乱”には“混乱する”、などのときに用いる意味と、“汨濫する”、などに用いる濫の意味があるため、“overuse”を“乱用”と訳しても間違いではない。
- MOH に限り、薬物乱用頭痛とたとえば薬剤連用頭痛(あくまでも例示)など医師向け、市民向けの二つを許容するという案もあった。
- 今回の MOH の診断基準には各薬物の診断基準に(注)が設けられており、たとえば、トリプタン乱用頭痛の場合、( )内にトリプタンを明記するとなっている。その他、NSAID(s), オピオイド, 複合鎮痛薬, 薬物または薬物の種類は括弧内に明記するようになっている。この方式を拡大して、薬物(頭痛薬)乱用頭痛と記載するという意見もだされた。

資料2 MOH の日本語訳として出された名称

薬物乱用頭痛

治療薬乱用頭痛

頭痛薬乱用頭痛

薬物連用頭痛

薬剤乱用頭痛

薬剤連用頭痛

薬剤連用性頭痛

治療薬連用頭痛

頭痛薬連用頭痛

治療薬過剰使用による頭痛

頭痛薬過剰使用による頭痛

薬物乱用頭痛・薬剤連用頭痛（医師向け、患者向けの2種類を許容）

薬物(頭痛薬)乱用頭痛

薬物の乱用による頭痛

薬剤の乱用による頭痛

薬物使用過多による頭痛

薬物過量使用による頭痛

資料3 8.2 MOHとそのサブフォームの日本語訳

8.2 Medication-overuse headache (MOH)

8.2 薬剤の使用過多による頭痛(薬物乱用頭痛、MOH)

8.2.1 Ergotamine-overuse headache

8.2.1 エルゴタミン乱用頭痛

8.2.2 Triptan-overuse headache

8.2.2 トリプタン乱用頭痛

8.2.3 Simple analgesic-overuse headache

8.2.3 単純鎮痛薬乱用頭痛

8.2.3.1 Paracetamol (acetaminophen)-overuse headache

8.2.3.1 パラセタモール(アセトアミノフェン)乱用頭痛

8.2.3.2 Acetylsalicylic acid-overuse headache

8.2.3.2 アセチルサリチル酸乱用頭痛

8.2.3.3 Other non-steroidal anti-inflammatory drug (NSAID)-overuse headache

8.2.3.3 他の非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)乱用頭痛

8.2.4 Opioid-overuse headache

8.2.4 オピオイド乱用頭痛

8.2.5 Combination-analgesic-overuse headache

8.2.5 複合鎮痛薬乱用頭痛

8.2.6 Medication-overuse headache attributed to multiple drug classes not individually overused

8.2.6 単独では乱用に該当しない複数医薬品による薬物乱用頭痛

8.2.7 Medication-overuse headache attributed to unverified overuse of multiple drug classes

8.2.7 乱用内容不明な複数医薬品による薬物乱用頭痛

8.2.8 Medication-overuse headache attributed to other medication

8.2.8 その他の治療薬による薬物乱用頭痛